

平成29年度当初予算 教育委員会主要施策の概要

◎予算編成のポイント

少子化やグローバル化などの教育を取り巻く環境が急速に変化しているなか、未来を拓く心豊かな人づくりに向けて、「石川の教育振興基本計画」に基づき、子ども達の確かな学力の育成、教員の資質能力の向上、スポーツの振興などの諸施策に積極的に取り組む。

◎重点主要施策の概要

- 子どもたちの確かな学力を育成するため、学力向上に向けた中長期指針である「いしかわ学びの指針12か条」に基づき、生徒の主体的・協働的に課題を解決する能力の育成や、組織的な指導力の向上を図る。
- 「高等学校「学びの力」向上アクションプラン」に基づき、校種の特性や生徒の学力、進路などに応じたきめ細かい学力向上対策を図り、生徒一人ひとりの資質・能力を高めるとともに、企業や高等教育機関と連携した実践的なキャリア教育の推進などにより、地域の活性化に貢献できる人材の育成を図る。
- 教員の世代交代が急速に進むなか、本県の教育力の維持・向上に向け、若手教員の早期育成から中堅教員の資質向上、次代を担う管理職の養成、再任用教員を活用した優秀な人材の育成・確保まで、それぞれのキャリアステージに応じた研修体制を構築し、石川ならではの「教職人材育成サイクル」を確立する。
- 家庭や地域の教育力の向上のため、学校・家庭・地域が連携・協力した取り組みの推進により、社会全体で教育力の向上を図る。
- 本県の個性豊かで多様な文化財を大切に保存するとともに、金沢城の調査研究や「いしかわ歴史遺産」の認定を進め、文化財の活用と魅力発信などに取り組む。
- ライフステージに応じたスポーツ活動の充実を図るため、生涯スポーツ活動を推進する。また、国体選手等の育成強化などの競技力向上対策とともに、東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた若手アスリート育成や合宿誘致、スポーツ施設の機能や利便性の向上に取り組む。

平成29年度当初予算 教育委員会主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
1 いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成		
(1) ふるさと石川に対する誇りと愛着の醸成		
・ ⑩石川版教科書「ふるさと石川」の改訂	6,800	高等学校におけるふるさと教育に関する石川版教科書「ふるさと石川」の改訂
・ ふるさと学習の充実	1,100	「ふるさとモット学び塾」の実施 史跡や偉人ゆかりの地で行う現地講座、小中学校出前講座、講座のインターネット配信など
・ 高校生人間力向上プロジェクトの実施	9,000	企業トップ等のインタビューDVDの作成、地域の第一線で活躍する人材による講義の実施など
(2) 地域の活性化に貢献できる人材の育成		
・ 県内先進企業と連携した高校生のキャリア教育の推進	6,000	先進的な県内企業への訪問や研究者の講演による、地域への愛着とクリエイティブな力を持った人材の育成 高等学校 25校(普通科全校)
・ 地域交流による高等学校の活性化	2,000	小中学校と連携した「わかる授業」の実践研究と地域貢献活動を通じた学校活力の発信 高等学校 11校
(3) イノベーションを担う人材の育成		
・ 最先端かつ専門的な分野を学ぶ授業の実施	3,000	大学教授等の外部専門家による最先端分野の授業の実施 高等学校 10校
・ 中学生における理科教育の充実	1,600	中学生サイエンスチャレンジの開催など
・ いしかわ高校科学グランプリの開催	1,110	生徒の科学に関する興味・関心を高め、トップ層の応用力等を伸ばすための大会の開催など
・ ⑪産業界と連携したプログラミング教育の推進	3,000	小・中・高校生を対象としたプログラミング体験教室の開催 小学生6会場、中学生3会場、高校生3会場
(4) グローバル人材の育成		
・ ⑫小・中・高等学校を通じた英語教育の充実	5,000	⑬次期学習指導要領に沿った授業の先行実施 小学校6校、中学校3校 拠点校における指導方法の研究実践・普及 高等学校6校 指導力向上セミナーの開催
・ スーパーグローバルハイスクールの推進	9,000	国際舞台で活躍できる人材を育成するための質の高いカリキュラムの推進 金沢泉丘高等学校
・ 高校生の海外留学の促進	2,100	海外留学を希望する高校生への奨学支援 15人
・ 外国語指導助手の配置	214,094	高等学校等 44人

教育委員会

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
2 学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力の育成		
(1) 確かな学力の育成		
・ 小・中学校の基礎学力調査の実施	11,690	基礎学力の到達状況の把握と指導法の検証改善 実施学年 小学校4、6年生、中学校3年生
・ いしかわ学びの指針12か条の推進	16,755	学びの組織的実践の推進 10,255 千円 拠点校・連携校の指定 小・中学校 68校 「学力向上プログラム」の推進 6,500 千円 評価問題の作成など
・ 児童生徒の能動的学習の推進	2,500	アクティブラーニングを取り入れた授業法の実践研究 推進校の指定 小・中学校11校
・ 高等学校学力スタンダードの策定と評価研究	2,000	校種の特性や学力に応じた学力基準の策定と評価手法の研究
・ 探究スキルの育成	2,500	アクティブラーニングを取り入れた論理的思考力等を高める 授業の実践研究 高等学校 14校
・ いしかわニュースーパーハイスクールの推進	5,500	思考力・表現力・判断力等を備え、将来、国際社会で活躍 できるリーダー的人材の育成 金沢泉丘、小松、七尾、金沢二水、金沢桜丘
・ 土曜日の教育活動の推進	9,631	サタデイ・イングリッシュ・セミナーの開催 4,560 千円 高等学校 10校、 中学校 4地区 地域の人材を活用した土曜学習の推進 5,071 千円 6市町/45か所
・ きめ細かな指導体制の充実	—	小学校3・4年生の35人学級と習熟度別少人数授業の 選択制の実施 小学校5・6年生の習熟度別少人数授業の実施 ㊦ 学習指導の充実等を図るため、小中学校及び高等学校に 退職教員等を非常勤講師として配置
(2) キャリア教育・職業教育の充実		
・ ㊦いしかわ産業教育フェアの開催	3,500	学習内容や実習による製作品の展示、研究発表、 各種競技会、販売実習等
・ 産業界等と連携した専門人材の育成	8,500	㊦ 企業・大学等と連携した職業に関する先進的・実践的な 取組の推進 4,000 千円 専門高等学校等 10校程度 生徒の長期型企業実習、専門分野の技術力・企画力を競う コンテスト等の実施 4,500 千円 高等学校 9校
・ 企業トップ講演会の開催	700	世界的規模で活躍する企業トップの講演の開催(2回)

教育委員会

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
(3) 特別支援教育の充実		
・ いしかわ版特別支援学校技能検定の実施	2,000	生徒の意欲向上や技能育成のための技能検定制度の実施 特別支援学校 7校
・ 障害のある生徒のインターンシップの促進	1,900	行政、企業、学校等による総合的就労支援体制の整備 労働局、ハローワークと連携した雇用促進セミナーの 開催など
・ ㊦特別支援学校の教育課程に係る実践研究	2,200	次期学習指導要領を踏まえた先導的な実践研究の実施
・ 通級指導の充実	—	㊦教員の配置増による通級指導教室の拡大 58学級→63学級
3 豊かな心と健やかな体を備えたタフな人づくり		
(1) 心の教育・道徳教育の充実、人権教育の推進		
・ 道徳教育の推進	10,000	推進校における「考え、議論する道徳」の研究実践 小・中学校 30校(19市町)
・ 心の教育の充実	7,377	㊦地域の教育活動実践事例集の作成 親子の手紙、グッドマナーキャンペーンの実施 など
・ 人権教育の推進	12,041	学校・社会教育における人権教育・啓発の推進 指導者の研修、啓発資料等の作成・配付
(2) いじめ・不登校等への取組の充実		
・ いじめを見逃さない学校づくりの推進	10,052	いじめ対応アドバイザーの派遣、いじめ問題フォーラムの 開催など
・ ㊦学校におけるカウンセリングの強化	130,250	スクールカウンセラー等の配置拡充 小学校110→140校、中学校84校、高等学校20校
・ 不登校児童生徒の学校復帰支援	6,794	やすらぎ教室の運営など
・ 生徒指導・支援体制の充実	22,145	スクールソーシャルワーカーの配置 20,338 千円 22人 発達障害アドバイザーの派遣 5人 1,807 千円
・ インターネット等の適正利用の推進	2,692	スマートフォン等インターネットの適正な利用と その危険性に関する指導、啓発の実施
(3) 体験活動の充実		
・ いしかわ子ども自然学校の実施	5,207	個人参加型自然体験プログラムの実施
・ 海洋体験活動の実施	1,466	小中学生を対象とした海洋での自然体験活動などの実施
(4) 健康や体力をはぐくむ教育の充実・防災教育の推進		
・ いしかわっ子体力アップ推進プランの実践	500	全ての公立小中高等学校における「1校1プラン」の取組

教育委員会

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
・ 教職員や児童生徒の防災意識の向上	2,012	危機管理マニュアルの点検のための専門家の派遣など
・ 栄養教諭の計画的配置	—	㊦ 小・中学校 66人→69人
・ 通学路の安全対策の推進	2,500	通学路安全対策アドバイザーの派遣など
4 信頼される質の高い学校づくり		
(1) 教員の資質・能力の向上		
・ ㊦教員確保・指導力向上推進室の設置		
・ ㊦教員総合研修センターの設置		いしかわ師範塾と教育センターを一体化
・ キャリアステージに応じた「いしかわ型 教員研修体制」の構築	104,441	㊦ 若手教員を組織的・体系的に育成する 「若手教員早期育成プログラム」の確立 4,500 千円 ㊦ 中堅教員の教科指導力、マネジメント力の強化 11,400 千円 初任者研修、管理職研修など 78,541 千円 研修のボリューム削減による子供と向き合う時間の確保 ㊦ いしかわ師範塾による即戦力となる人材の育成・確保 10,000 千円 定員の拡充(学生クラス 360人→390人)、講座内容の充実、 広報強化等
・ 学校マネジメント力の向上	1,500	学校の業務改善に向けた改善策の試行など
・ 教職員健康保持対策の充実	62,576	定期健康診断など教職員の健康管理 46,196 千円 教職員のメンタルヘルス対策の推進 6,537 千円 精神疾患による休職者の職場復帰訓練の実施、復帰時の 勤務負担の軽減の実施 9,843 千円
(2) 教育環境の整備・充実		
・ 県立学校の施設設備の整備	2,097,569	大規模改修 1,974,569 千円 寺井高等学校など18校 産業教育設備の整備 123,000 千円
・ 県立学校の耐震化	422,146	穴水高等学校の耐震化
・ 情報設備の充実	140,841	タブレット端末の整備などICT機器の充実
・ 高等学校就学支援金の支給	2,327,980	一定の年収未満の世帯の生徒の授業料に充当
・ ㊦教育費負担軽減奨学金の支給	229,938	低所得世帯の高校生等に給付型の奨学金を支給 非課税世帯の給付額の増額 【全日制等】(第1子)年額59,500円→75,800円
・ 修学援助の充実(育英資金特別会計)	352,911	新規貸与枠400人
・ 特別支援学校への就学援助	268,108	保護者の負担軽減

教育委員会

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
5 学校、家庭、地域が連携・協力した、社会全体による教育力の向上		
・ 「学びの態度」の育成	1,001	やり抜く力や協調性等を育むための教員向け指導資料及び保護者向け啓発パンフレットの作成など
・ 家庭教育支援ネットワークの構築	400	地域の教育力向上のための支援 体験活動等を実施する企業の情報提供など
・ 家庭教育の充実	16,900	親学び講座「肝心かなめの1年生塾」の開催支援 親学びの冊子作成 840 千円 電話相談等の実施、テレビ番組の放映 16,060 千円
・ 放課後子ども教室の設置支援	6,330	放課後等における学びや体験の場の提供 9市町/56か所
6 生涯にわたり学び続ける環境づくり		
・ 県民大学校の充実	40,185	教養・専門講座、「ファミリー・カレッジ in 本多の森」の開催など
・ 図書館マルチ検索・予約システムの運営	18,520	県内公共図書館の横断的検索システムの運営など
・ ㊦日本スカウトジャンボリーへの開催支援	37,000	第17回日本スカウトジャンボリーの会場整備への支援 会期 平成30年8月4日(土)～10日(金) 会場 珠洲市蛸島町「りふれっしゅ村鉢ヶ崎」 スカウトジャンボリー開催支援室の設置
7 文化財の保存・活用		
・ 金沢城の調査研究	21,100	㊦金沢城の総合的な研究の推進 9,109 千円 城郭庭園の機能・変遷の研究、㊦切石積石垣の確認調査、 『金沢城編年史料(仮称)』の編纂など 基礎的調査の充実・発展 11,991 千円 金沢城下町の史料及び城内建造物等の調査など
・ 世界遺産登録に向けた取り組み	5,595	文化遺産学術調査委員会の開催等 1,595 千円 「石川県に世界遺産を」キャンペーン事業への支援 4,000 千円
・ いしかわ歴史遺産の認定と活用	1,500	文化財群の活用を図るためのストーリーの認定
・ ふるさと文化財調査の促進	1,050	市町の文化財建造物等に関する調査の促進
・ 有形文化財の保存	62,740	㊦総持寺経蔵の屋根葺替 ㊦阿岸本誓寺本堂の保存修理など
・ 伝統的建造物群保存地区の保存	12,961	金沢市、加賀市、輪島市、白山市
・ 史跡名勝天然記念物の保存	24,816	能美古墳群の公有地化 真脇遺跡の史跡公園の整備など

教育委員会

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
・ 埋蔵文化財発掘調査の促進と公開・活用	1,325,834	埋蔵文化財緊急発掘調査の促進 1,321,412 千円 古代ふれあい体験の促進等 4,422 千円
・ ⑨輪島漆芸技術研修所創立50周年記念事業の実施	5,100	漆芸をテーマとした講演、展覧会の開催など
8 ライフステージに応じたスポーツ活動の充実		
(1) 生涯にわたるスポーツ活動の充実 (県民文化スポーツ部へ移管)		
・ いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会の開催	10,000	総合開会式、著名な選手によるスポーツ教室、種目別大会の開催
・ 県民総スポーツ運動の推進	6,353	いしかわ302スポーツ運動の推進など
・ 広域スポーツ支援センターの設置	2,926	クラブマネージャースキルアップ講習会の開催など
(2) 競技スポーツの振興 (県民文化スポーツ部へ移管)		
・ ⑩いしかわ競技力向上方策検討会議(仮称)の設置	1,500	戦略的・効果的な選手強化や指導者育成等の競技力向上方策の検討
・ ⑪競技団体における競技力向上体制の構築	2,000	選手強化・指導者育成に向けた先駆的な取組に対する支援 世代を超えた強化練習会・大会の開催、 年代別選抜チームの指導者をハイレベルな研修へ派遣
・ 競技力向上対策	227,400	国体選手等の育成強化 199,900 千円 基礎強化・重点強化・指導者育成、ふるさと選手との タイアップなど 中学生・高校生選手の育成強化 27,500 千円
(3) 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた取り組み		
・ ⑫オリンピック・パラリンピック教育の推進	2,500	オリンピックによる講演会、運動部活動の実技指導など 小学校2校、中学校2校、高等学校2校
・ 国際大会で活躍できる若手アスリートの育成 (県民文化スポーツ部へ移管)	8,000	競技団体が実施する育成強化に対する支援 県内外の合宿・海外遠征、中央コーチ招へいなど
・ 東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致の推進 (県民文化スポーツ部へ移管)	9,000	競技団体、市町と連携したPR活動 ⑬競技団体の事前合宿受入に対する支援
(4) スポーツ施設の整備・充実 (県民文化スポーツ部へ移管)		
・ ⑭木場潟カヌー競技場整備に対する支援	13,000	トレーニングセンター整備に対する助成 交付先 小松市
・ ⑮西部緑地公園陸上競技場の整備 (3月1次補正分)	604,000	大型映像装置・音響設備の機能向上

教育委員会